

安全で遊べる布絵本

名前

- ・高桑あやな
- ・潮見日奈子
- ・田中さや

布絵本チームの高桑あやなと、潮見日奈子と、田中さやです。これから、私たちが作った布絵本についての発表を始めます。私達は、1～2歳向けの布絵本を作りました。

今日のプレゼンのゴール

理想の状態が伝わる画像

幼い子のために作った
安全なおもちゃについて
知ってもらおう。

今回の、プレゼンのゴールは「幼い子のために作った安全なおもちゃについて知ってもらおう」ことです。

プロジェクトの全体像



- ・ページごとの、フェルト絵本の設計図作り
- ・買い物
- ・実際に作る
- ・展示会の準備
- ・発表会の資料作り

私達は、このような順番でプロジェクト活動をしました。

- 1、ページごとのフェルト絵本の設計図作り
- 2、材料の買い出し
- 3、実際に作る
- 4、展示会の準備
- 5、発表会の資料作り

プロジェクトのきっかけ・理想像



きっかけ

グループのメンバーで妹や弟がいる人がいて、お母さんっ子で困っていたから

理想像

幼い子が1人で楽しく遊べるようになること



プロジェクトのきっかけは、
グループのメンバーで妹や弟がいる人がいて、お母さんっ子で困っていたから
その時の、理想像は、
幼い子が1人で楽しく遊べるようになること

プロジェクトの成功基準

幼児やペットが噛んだり、投げたりしても安全なおもちゃ

成功基準

成功

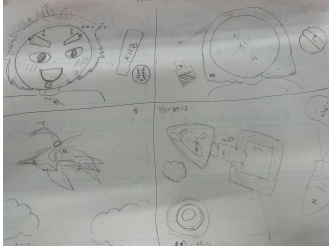
計画通り、全てのページを作れた

失敗

本体を作るときにななめって作り直した

私たちの考えたプロジェクトの成功基準は、
幼児やペットが噛んだり、投げたりしても安全なおもちゃです。
成功例は、
計画通り、全てのページを作れたことです。
失敗例は、
本体を作る時にななめって作り直したことです。

プロジェクトで具体的にやったこと



①設計図作り



②買い物

③1ページずつ
くっつける

プロジェクトでやったことは、
設計図作りや買い物、1ページずつ、くっつけることです。

プロジェクトの結果

結果:成功

- ・布絵本の完成
- ・完成した布絵本を沢山の人の人に見てもらった

これから、自分の弟や妹にも遊んでももらいたい！

プロジェクトの結果は
布絵本の完成と、布絵本をたくさんの人に見てもらったことです
そして、これから自分の弟や妹に遊んでもらって、実際にたのしく遊べるか確かめたいと
思っています。

はじめてポイント



- ・実際に布絵本を作って、他の人に見てもらおうこと

- ・学校では、言われたことをやるだけだったけど、今回は自分たちで考えて作ったこと

(スライド読み上げ)

プロジェクトで苦労したこと



苦労したこと

- 苦労①: ミシンではなく、手縫いなので時間がかかること
- 苦労②: 布の生地がいつも使う種類と違うものが多かったこと



時間ごとに目標を決めてやった。

(スライド読み上げ)

プロジェクトを通して学んだこと

学び①

ちゃんと計画を立てて、進めたこと

学び②

幼い子向けのおもちゃは安全でなくてはいけないので作るのが大変だということ

学び③

みんなで協力して、作るということ

①(読み上げ)～が大切だとわかりました。デザインの計画を最初に決めておいたので、パーツを作り直したりするときも迷うことはありませんでした。

②(読み上げ)～がわかりました。お母さんの大変さや、ペットの安全など考えることが沢山ありました。

③(読み上げ)～の大切さにも気づきました。ぬい方に困った時に相談できたので、教えあって効率よく作業ができました。